

第90回 機器・部品メーカー懇談会



関西支部・部品運営委員会では6月14日(水)にホテルグランヴィア大阪で標記懇談会を開催しました。

澤村部品運営委員長挨拶

「世界的な不安定要素もありますが、極端な円高は避けられ、部品業界は堅調に推移しています。成長が期待される自動運転、IoT、ロボット等には、多様な連携が求められます。90回を数えた懇談会が、引き続きイノベーションの契機になることを願っています。」



カーエレクトロニクスの動向と今後の展開 三菱電機(株)・渡部秀雄 部長

「次世代の運転支援機能“EMIRAI3 xDAS”として、HMI(運転中の視線移動を軽減する3D-Head-Up Display等)、ドライバセンシング(運転者の状態把握による運転支援)、テレマティクス(危険地点や運転者の行動傾向を踏まえたルート提案)、灯火制御(通行者・他車に進路を判りやすく伝達)の技術開発を進めています。人と機械の間をつなぐセンサー、小型・軽量・低消費電力のデバイスを期待しています。」

IoTによる社会の超スマート化と+d戦略 (株)NTTドコモ・谷直樹 部長

「IoT時代のネットワーク基盤強化に向け、5Gへの対応に加え、小容量・省電力を特徴とするLPWA(Low Power Wide Area)関連の実証を進めています。サービスプラットフォームの拡大に向け、汎用型ならびに業界特化型(例えばAIタクシー)のパッケージサービスの実証にも取り組んでいます。LPWA関連センサー、テレマティクス、次世代交通分野などでの技術・製品の提案をお待ちしています。」

IoT/M2Mを利用した、農業への新しい価値提供 ヤンマー(株)・矢島孝應 執行役員

「創業100周年を機にブランドの再構築をめざして企業活動を革新しました。世界的な食糧不足と国内の労働力不足という課題に対し、SMART ASSISTシステムの開発(ICT・IoT・M2Mにより農機の性能をフルに発揮)、ロボットトラクタによる効率向上、ドローンを用いた作物診断等を進めています。データ分析の高速・高容量化、常時送受信性能の強化に向けた部品開発と、環境規制への対応をお願いします。」

2020年と、その先のレガシー形成に向けた取り組み パナソニック(株)・井戸正弘 役員

「東京大会は”おもてなし”と”未来の暮らし”を発信します。社会課題(トランスポートーション、コミュニティ、コミュニケーション、セキュリティ等)の対応と、次世代への提案(アクセシビリティ、ウェルネス、スポーツ)を進めます。具体的には、電動自転車のシェア、無電柱化で設置される地上機器のサイネージ活用、4Kカメラ等による監視システム、自律移動の電動車いす、5Gと4Kを用いたスポーツエンターテイメント等を展開します。2020年以降の社会インフラを手掛けるには連携が不可欠であり、多様な提案をお待ちしております。」

IoTの取り組み (株)村田製作所・佐藤武史 部長

「お客様の開発スピードアップに向け、組込みパッケージの商材を拡張しています。自動車・エネルギー・ヘルスケアから、インフラやサービスにマーケットを拡大して行きます。次世代モビリティ向け製品を展開すると共に、多様なセンサーを組み合わせ、業務の環境改善や製品の品質向上に有効な無線照明システムや、スマート工場のソリューションにも取り組んでいます。」